

教育委員会

Information

今月号より始まりました新コーナー

「教育委員会 Information」

このコーナーでは、今後、毎月開催されます高島市教育委員会定例会で話し合われた内容や、教育委員の活動についてお知らせしていきます。

第1回の今月号では、福井委員長のあいさつと平成18年第一回定例会報告を掲載します。



教育に思つ

戦後60年を経過した今日の日本が直面している重要課題は、昨年から始まった人口の減少（少子高齢化）問題ではないでしょうか。BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国）の追いつきを受ける国際競争の時代であり、一人ひとりの国民の人格形成と資質の向上、国家、社会の形成者として育成が一層重要な意味で来ていると痛感します。

日本人として誇りと自信を持てる自分で考え、行動し、結果に責任を持つ人。相手の身になつて考え、実行のできる人。自分の考えをじっかり相手に伝える人。公徳心を持つている人。野に咲く花に感動を覚える感受性豊かな人。国際性豊かな人。ではないでしょうか。

国際比較に於いて日本人学生の学力低下、勉強時間の少なさが指摘されています。資源の無い、人材が最大の資源である日本にとって、学力の低下は由々しき問題です。市教育委員会が受け持つ学校教育の中の、義務教育にあつては、基礎学力、基礎知識、基礎技能を徹底的に教え込み、色々な経験、体験を積ませることによって知恵にし、「自ら学び考える力」と、「生きる力」を育成することが肝要と考えます。戦後、日本が歩んで来た民主主義国家の根源は勿論、国民主義、主権在民で、自由、平等、権利が

争の時代であり、一人ひとりの国民の人格形成と資質の向上、国家、社会の形成者として育成が一層重要な意味で来ていると痛感します。声高に叫ばれて来ました。しかし、自由に伴う自己責任、権利に伴う義務、行き過ぎた結果平等ではない機会平等の教育が欠落していたのではないかでしょうか。

最近マスクを賑わしているコロナ事件、児童殺害事件、青少年の非行問題を考える時、自由、権利を言い過ぎる余り、自己中心主義、物質主義、持金主義が横行し、日本の美德であった節度や惣徳（まことに思ふ気持ち）、謙譲、和の精神、感謝の念、恥の意識といった、かけがいの無い「心」が失われているように思われます。人ととの接点を増やし、お互いに切磋琢磨し相手の痛みが分かる人間の育成こそ喫緊の課題ではないでしょうか。

今、家庭教育、地域社会の教育力が落ちていると言われております。もう一度高島の宝、日本の宝である子ども達の健全な育成の為、家庭、学校、地域社会が一致団結してお互い情報交換をしながら協力できるスキルを作り知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する必要を強く感じております。

第一回定例会報告

平成18年の第1回定例会が、1月30日に開催されました。

△高島市図書館協議会からの答申
「これから高島市立図書館の在り方について」の答申がなされました。

— 抜粋 —

各図書館は並列となつてあるが、図書館をひとつのシステムとして、効率的に運営していくためには、市内図書館ネットワークの中核としての、また市内図書館をバックアップする中核となる図書館が必要である。

図書館サービスの基本は資料の情報提供であり、図書館資料の充実が最も重要である。

図書館の指定管理者制度の導入については、公的責任（平等性・公平性）や施設の収益性、個別法の規定による制約等9項目にわたり検証したが、指定管理者制度で運営すべきと結論付ける根拠はどこにも見出せることはできなかつた。市が責任をもつて直接運営することが最良の選択である。他

△体育施設料金改定にかかる検討委員会の答申がなされました。

— 抜粋 —

料金体制を考えるなかで、市民の利用については利用者負担の原則を堅持するような料金体系を図る。

学校教育活動で使用する場合（クラブ活動も含む）の減免措置を考えるとともに、スポーツ振興を

民館のあり方について」の答申がなされました。

— 抜粋 —

まちづくりの拠点として、地域課題を掘り起こし把握する。

人づくりの拠点として、近江聖人中江藤樹の生き方や教えを学び共感することで「ここをきよめ、おこないよくする」人づくりをめざし、現代的課題に対応できる人材を育成する。

地域の生涯学習機関・組織等との連携・協力を図り、地域住民の学習ニーズの多様化・高度化に応じる。

使用料の徴収については、公民館を利用する人と利用しない人の学習ニーズの多様化・高度化に基づいて、市内図書館ネットワークの中核としての、また市内図書館をバックアップする中核となる図書館が必要である。

図書館サービスの基本は資料の情報提供であり、図書館資料の充実が最も重要である。

図書館の指定管理者制度の導入については、公的責任（平等性・公平性）や施設の収益性、個別法の規定による制約等9項目にわたり検証したが、指定管理者制度で運営すべきと結論付ける根拠はどこにも見出せることはできなかつた。市が責任をもつて直接運営することが最良の選択である。他

△議事

推進させ、スポーツ意欲を損なわせない施策を講ずること。他の課題を掘り起こし把握する。

人づくりの拠点として、近江聖人中江藤樹の生き方や教えを学び共感することで「ここをきよめ、おこないよくする」人づくりをめざし、現代的課題に対応できる人材を育成する。

地域の生涯学習機関・組織等との連携・協力を図り、地域住民の学習ニーズの多様化・高度化に基づいて、市内図書館ネットワークの中核としての、また市内図書館をバックアップする中核となる図書館が必要である。

図書館サービスの基本は資料の情報提供であり、図書館資料の充実が最も重要である。

図書館の指定管理者制度の導入については、公的責任（平等性・公平性）や施設の収益性、個別法の規定による制約等9項目にわたり検証したが、指定管理者制度で運営すべきと結論付ける根拠はどこにも見出せることはできなかつた。市が責任をもつて直接運営することが最良の選択である。他

△協議報告

推進させ、スポーツ意欲を損なわせない施策を講ずること。他の課題を掘り起こし把握する。

人づくりの拠点として、近江聖人中江藤樹の生き方や教えを学び共感することで「ここをきよめ、おこないよくする」人づくりをめざし、現代的課題に対応できる人材を育成する。

地域の生涯学習機関・組織等との連携・協力を図り、地域住民の学習ニーズの多様化・高度化に基づいて、市内図書館ネットワークの中核としての、また市内図書館をバックアップする中核となる図書館が必要である。

図書館サービスの基本は資料の情報提供であり、図書館資料の充実が最も重要である。

図書館の指定管理者制度の導入については、公的責任（平等性・公平性）や施設の収益性、個別法の規定による制約等9項目にわたり検証したが、指定管理者制度で運営すべきと結論付ける根拠はどこにも見出せることはできなかつた。市が責任をもつて直接運営することが最良の選択である。他

△議事

推進させ、スポーツ意欲を損なわせない施策を講ずること。他の課題を掘り起こし把握する。

人づくりの拠点として、近江聖人中江藤樹の生き方や教えを学び共感することで「ここをきよめ、おこないよくする」人づくりをめざし、現代的課題に対応できる人材を育成する。